

平成21年度事業計画書・予算書

自 平成21年 4月 1日

至 平成22年 3月31日

財団法人福島県観光物産交流協会

平成21年度事業計画

I 基本方針

財団法人福島県観光物産交流協会は、本県の観光と物産に関する民間の専門的能力を集結し、県をはじめ行政や民間事業者と連携・協力しながら、また、行政や民間事業者では実施困難な部分について、当協会が役割を担いながら各種事業を積極的に展開し、県観光と県産品の一層の振興を図っていく。

平成21年度は、当協会の基本目標である県内の資源を生かしたふるさと産品の開発・育成、販路の拡大、国内外からの観光客の誘致の促進やふくしまのブランド力の向上など、観光、物産振興の総合的・一体的な展開を図り、本県の地域経済社会の活性化と多様な交流の拡大及び観光立国の推進に向けて、

1. 地域資源の発掘、育成による新たな旅行商品や特産品の開発
2. 観光・物産業界の明日を担う人材の育成
3. 快適な旅行を実現する観光地の整備
4. ターゲットを明確にした宣伝・誘客活動及び販路の拡大
5. ITの特性を生かし、利用者の利便性に配慮した情報発信
6. 複数の販売拠点活用と効果的な物産展開催による販路の拡大
7. 県有観光施設を活用した誘客の促進
8. 観光と物産に関するワンストップ化

の8つの施策体系に基づき各種事業を積極的に展開し、観光と物産の一層の振興を図っていく。

II 事業計画

- 1 地域資源の発掘、育成による新たな旅行商品や特産品の開発

(1)ふるさと産品開発・育成事業（3,000千円）

ふるさと産品の開発育成を支援するため、意欲ある生産者（製造販売業者等）が実施する新商品の開発や販路開拓・拡大に取り組む事業に対して助成を行い、全国に通用する産品の開発・育成等を促進していく。

(2)ふくしま特産品コンクール事業（4,447千円）

ア 「第9回ふくしま特産品コンクール」の開催（2,609千円）

品質・デザインに優れた「ふくしま・ふるさと産品」を顕彰することにより、新たな特産品の開発・改良を促進し、県内はもとより全国展開可能な、より市場性に富んだ「ふくしま・ふるさと産品」の育成を図る。

- イ 特産品コンクール受賞産品テストマーケティング調査（1,838千円）
首都圏アンテナショップ「ふくしま市場」などを活用し、首都圏における「ふくしま特産品コンクール受賞産品」のモニタリング調査を実施し、各種データを収集して今後の商品開発・改良に役立てるとともに、首都圏の消費者に対し広くPRを行う。

【参考：プロモーション事業】

- (1) 浜・中・会津観光プロモーション事業（18,000千円）
浜・中・会津の地域特性を活かし、首都圏等をターゲットに各種の観光プロモーションを実施する。

2 観光・物産業界の明日を担う人材の育成

- (1) 伝統的工芸品若手職人・後継者支援事業（1,213千円）
新しい発想と伝統との融合を図りながら創作に取り組む若手職人・後継者の作品を、発表、販売する展示会を開催し、歴史と伝統に培われた技術・技法や心を後世に継承していく。
- (2) 教育旅行受入セミナー（143千円）
本県全体から教育旅行関係者に集まっただき、最新情報収集・共有を行う。

【参考：プロモーション事業】

- (1) A T I 情報発信促進事業（500千円）
地域別観光情報発信の主役であるA T I（エリアツーリストインフォメーション）の記者を育成する。

3 快適な旅行を実現する観光地の整備

- (1) 浄土平レストハウス、給水発電設備の維持管理（23,615千円）
浄土平地区の水道事業を行うとともに、施設の維持管理部門では、「星と自然の浄土平まつり」等の広報事業、キャンペーン、イベントなどを関係団体と連携して実施、浄土平の魅力や活動の場としてのレストハウスをPRする。
- (3) 浄土平公衆便所・浄化槽の維持管理（6,326千円）
うつくしま、ふくしま観光地さわやかトイレ普及事業のモデル施設としての役割に沿った適切な運営を行い、自然環境に配慮した快適な空間を提供する。

(4) 迎賓館の維持管理 (8,162千円)

自然や歴史文化等の教育資源が豊富な当地のキーワードを「明治・大正のロマン」と位置づけ、歴史的背景を深く掘り下げるとともに、文化財としての理解を得る機会を提供する。

4 ターゲットを明確にした宣伝・誘客活動及び販路の拡大

(1) ふるさと産品フェア出展事業 (3,416千円)

ふくしま特産品コンクール入賞作品など魅力ある県産品を広くPRするため、県、市町村及び団体等と連携し、県内外で開催されるコンベンションや大規模量販店等において「ふるさと産品フェア(展示、PR、販売)」を開催し、県内外にすぐれた県産品の情報を発信するとともに、県産品の販売促進を図っていく。

(2) ふるさと産品展示PR事業 (966千円)

協会の県外事務所(東京、大阪、名古屋、北海道)や東北新幹線福島駅構内の展示コーナーにおける県産品の展示により、県産品の全国への情報発信と併せて販売促進を図っていく。

(3) お土産品PRパンフレット増刷事業 (630千円)

全国大会等のコンベンションやフェアなど、あらゆる機会を捉えて福島県の土産をPRするため、土産品カタログ「ふくしま自慢」を増刷する。

(4) 県産品首都圏販路開拓支援事業 (9,881千円)

生産者の商談代行により、首都圏のスーパー、百貨店や高級料理店において、県産品の販売拡大を図っていく。

(5) (新) 福島空港誘客促進対策事業 (17,335千円)

福島空港の国内就航先である札幌・大阪に対して、本県観光の魅力を発信するとともに、現地旅行者を招聘する等して、福島空港を観光交流を促進する。

(6) 福島空港利用外国人誘客促進事業 (13,504千円)

福島空港の国際線定期便及び国際チャーター便の利活用を促進し、本県への外国人観光客の誘客を促進するため、食や文化を含めた包括的な本県の観光の魅力をPRし、誘客促進を展開する。

(7) (新) ふくしま観光海外ブランド力強化事業 (4,966千円)

福島空港を活用した本県の観光地のブランド力を高めるため、中国、韓国及

びチャーター便就航の可能性が高い台湾・香港を重点地域に位置づけ、福島県観光資源のブランド力の向上・強化に取組み、福島県への海外誘致を促進する。

(8) 国際教育旅行誘致強化事業 (4, 998千円)

韓国・中国・台湾・香港からの国際教育旅行を誘致するため、教育旅行者の招聘事業を実施する。併せて国際教育旅行での交流受入れ県内学校への助成を行う。

(9) 教育旅行推進事業 (7, 777千円)

福島県観光誘客の特徴である小学生連れの家族旅行や教育旅行をベースに、「教育」による将来のリピーターの確保と二地域居住者の増大を図る。

年少時期に感動的なほんものの思い出を作る旅により、その親など家族への浸透を図る。

演出の担い手、「思い出づくり案内人」の設置と利用者のワンストップサービスシステムの構築を図る。

【参考：プロモーション事業】

(1) 観光情報紙による発信事業 (10, 400千円)

四季おりおりの福島県の魅力を情報紙により発信する。首都圏等の駅、高速道路SA、旅行エージェント、一般旅行者等に配布。

(2) 「旅フェア」への参加 (千葉幕張) (100千円)

日本観光協会が開催する全国「旅フェア」において福島県の観光の魅力をPR

(3) ウィンターリゾート2010 (東京) (600千円)

首都圏のボーダー (スキーヤー) をターゲットに福島県のスキー場のPRを行う。

5 ITの特性を生かし、利用者の利便性に配慮した情報発信

(1) インターネット情報収集・発信事業 (1, 575千円)

インターネット (ホームページ) を活用して、消費者の要望・意見等を収集するとともに、ふくしま特産品コンクール優秀産品 (「ふくしま特選品大賞」受賞産品ほか) など、本県の優れたふるさと産品を全国に向けて情報発信するとともに、販路拡大・消費拡大を図っていく。

(2) 情報誌発行事業 (200千円)

県内各地の新しい産品や物産展、観光物産館取扱商品等の情報誌「ふくしま・ふるさと逸品だより」を観光情報も取り入れながら発行する。

参考：プロモーション事業】

(1) 福島県観光情報発信ホームページ (TIF) (5,000千円)

観光ホームページ「ツーリストインフォメーション福島」での情報発信及び保守管理運営 (年間アクセス約100万件)

6 複数の販売拠点活用と効果的な物産展開催による販路の拡大

(1) 観光物産館展示・販売等事業 (134,719千円)

①

県民及び県外からの観光客等に県内各地の優れたふるさと産品の展示・販売やイベントコーナーにおける各種催事の企画により、賑わいのある施設として観光物産館の運営に努める。

②三団体統合フェア等の開催 (1,000千円)

三団体統合記念フェアや観光物産館オープン5周年を記念するフェアを開催する。

(2) 物産展開催事業 (14,500千円)

①受託物産展開催事業 (7,500千円)

県の委託を受けて、ふるさと産品の紹介宣伝及び販路拡大や自慢の産品を通じたふくしま県のイメージアップを図るため、物産展を開催する。

②主催物産展等開催事業 (7,000千円)

ふるさと産品の紹介宣伝及び販路拡大や自慢の産品を通じたふくしま県のイメージアップを図るため、物産展を開催する。

(3) 首都圏アンテナショップ事業 (23,786千円)

首都圏アンテナショップ「ふくしま市場」を活用し、消費者に「ふくしま産品」の情報発信と販路拡大に努める。

また、消費者やパイヤーの反応・ニーズを把握し、新たな商品開発や販路開拓戦略に生かしていく。

7 県有観光施設を活用した誘客の促進

(1) 浄土平レストハウス・不動沢レストハウスの運営 (22,914.2千円)

新規誘客及び収入増を図るため、旅行エージェントを対象とした積極的な営業活動を行い、地域物産の新たな掘り起こし、付加価値の高い商品発掘等に積極的に取り組んでいく。

(2)くろがね小屋の運営（22,011千円）

天然温泉のある山小屋として、その魅力を最大限にPRし、定期的な集客イベント等を実施することにより、エージェント等への営業活動を強化する。

(3)天鏡閣の運営（23,577千円）

入館者の減少傾向に歯止めをかけるため、猪苗代湖畔の森活性化推進協議会による広報事業、イベントなど関係団体連携し、充実した内容として実施する。

(4)国民宿舎翁島荘の運営（142,796千円）

高齢者あるいは女性に喜ばれる商品を企画開発し、営業活動を強化するとともに、天鏡閣建築100周年事業とタイアップした宿泊企画を提供する。

法人名：財団法人福島県観光物産交流協会
 会計単位名：公益事業会計（総括表）

収支予算書（当初予算）

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

（単位：千円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(1) 事業収入			
① 基本財産運用収入	11,000	12,000	△ 1,000
② 基本財産取崩収入	100,000	0	100,000
③ 会費収入	7,832	7,832	0
④ 事業収入	46,664	68,075	△ 21,411
⑤ 補助金収入	93,480	130,021	△ 36,541
⑥ 委託料収入	0	25,557	△ 25,557
⑦ 寄付金収入	0	1,108	△ 1,108
⑧ 負担金収入	370	370	0
⑨ 受取利息	0	0	0
⑩ 雑収入	301	11	290
⑪ 繰入金収入	9,262	10,004	△ 742
⑫ 短期借入金収入	0	0	0
事業活動収入計	268,909	254,978	13,931
2. 事業活動支出			
(1) 事業費支出			
① 事業費			
1 特産品の開発育成事業費	7,447	10,960	△ 3,513
2 宣伝・誘客活動事業費	1,596	2,079	△ 483
3 販路拡大事業費	15,886	16,925	△ 1,039
4 情報発信事業費	1,575	2,279	△ 704
5 人材育成事業費	0	1,213	△ 1,213
6 委託事業費	46,267	37,958	8,309
7 観光施設建設受託事業費	0	28,571	△ 28,571
② その他事業支出			
8 広告宣伝費	200	200	0
9 負担金	900	900	0
10 寄付金	1,400	2,000	△ 600
11 会議費	0	7	△ 7
12 旅費交通費	0	68	△ 68
13 通信運搬費	0	213	△ 213
14 消耗品費	0	1,328	△ 1,328
15 修繕費	0	1,337	△ 1,337
16 印刷製本費	0	220	△ 220
17 燃料費	0	7,903	△ 7,903
18 光熱水費	0	634	△ 634
19 支払手数料	0	1,054	△ 1,054
20 公租公課	0	108	△ 108
21 委託料	0	12,878	△ 12,878
22 観光施設建設受託事業償還金	402	689	△ 287
② 管理費			
23 役員報酬	18,399	18,294	45
24 給料手当	44,860	62,493	△ 17,633
25 賃金	0	5,059	△ 5,059
26 福利厚生費	7,400	10,338	△ 2,938
27 諸謝金	0	391	△ 391
28 会議費	188	102	86
29 交際費	30	32	△ 2
30 旅費交通費	1,757	1,162	595
31 通信運搬費	2,128	2,321	△ 193

法人名：財団法人福島県観光物産交流協会
 会計単位名：公益事業会計（総括表）

（単位：千円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
32 消耗品費	3, 592	2, 530	1, 062
33 修繕費	29	1, 730	△ 1, 701
34 印刷製本費	150	50	100
35 燃料費	480	529	△ 49
36 光熱水費	794	1, 069	△ 275
37 使用料及び賃借料	7, 138	6, 229	909
38 租税公課	104	5	99
39 負担金	41	166	△ 125
40 寄付金	5	5	0
41 支払手数料	269	752	△ 483
42 広告宣伝費	95	0	95
43 委託費	1, 507	6, 059	△ 4, 552
44 雑支出	1, 500	677	823
45 退職金共済掛金支出	2, 760	1, 128	1, 632
③他会計への繰入金支出			
46 他会計への繰入金支出	84	588	△ 504
事業活動支出計	<u>168, 923</u>	<u>251, 233</u>	<u>△ 82, 310</u>
業活動収支差額	<u>99, 986</u>	<u>3, 745</u>	<u>96, 241</u>
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
退職給与引当預金支出	100, 000	3, 264	96, 736
投資活動支出計	<u>100, 000</u>	<u>3, 264</u>	<u>96, 736</u>
投資活動収支差額	<u>△ 100, 000</u>	<u>△ 3, 264</u>	<u>△ 96, 736</u>
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
①その他の支出			
他会計借入金返済支出	0	0	0
財務活動支出計	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
財務活動収支差額	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
IV 予備費支出			
当期収支差額	<u>△ 14</u>	<u>481</u>	<u>△ 495</u>
前期繰越収支差額	<u>503</u>	<u>3, 922</u>	<u>△ 3, 419</u>
次期繰越収支差額	<u>489</u>	<u>4, 403</u>	<u>△ 3, 914</u>

収支予算書（当初予算）

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

（単位：千円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
(1)事業収入			
①事業収入			
1 受託料収入	77,263	76,714	549
2 物産品売上高	275,843	299,003	△23,160
3 食事料収入	67,557	148,999	△81,442
4 手数料収入	65,171	66,820	△1,649
5 使用料・入館料収入	22,971	58,029	△35,058
6 負担金・補助金収入	17,402	4,250	13,152
7 営業雑収入	4,137	2,990	1,147
②雑収入			
8 受取利息	10	1	9
9 雑収入	129	1,130	△1,001
10 他会計繰入金収入	0	2,000	△2,000
11 他会計貸付金収入	10,092	13,124	△3,032
事業活動収入計	540,575	673,060	△132,485
2. 事業活動支出			
(1)事業費支出			
①事業仕入高			
1 物産品仕入高	206,307	220,433	△14,126
2 食事材料仕入高	24,968	52,380	△27,412
3 物産品廃棄損等	1,822	1,712	110
②その他事業費支出			
4 旅費交通費	4,368	4,603	△235
5 通信運搬費	4,609	4,459	150
6 消耗什器備品費	2,790	1,832	958
7 消耗品費	5,571	9,434	△3,863
8 修繕費	3,386	2,254	1,132
9 印刷製本費	2,423	3,208	△785
10 燃料費	10,786	12,723	△1,937
11 光熱水料費	14,292	24,767	△10,475
12 使用料及び賃借料	20,593	24,507	△3,914
13 支払手数料	3,262	5,790	△2,528
14 広告宣伝費	11,760	11,007	753
15 租税公課	3,402	3,286	116
16 負担金	6,923	11,869	△4,946
17 寄附金	30	38	△8
18 委託費	21,757	22,109	△352
19 保険料	857	1,241	△384
20 店内裝飾費	620	1,118	△498
21 包装資材費	3,382	3,513	△131
22 交際費	305	461	△156
23 会議費	59	164	△105
24 雑損失	76	230	△154
25 雑支出	254	1,741	△1,487
③管理費支出			
26 給料手当	101,748	122,877	△21,129
27 賃金	38,684	53,243	△14,559
28 福利厚生費	18,851	23,652	△4,801
29 諸謝金	790	1,055	△265

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
④法人税、住民税及び事業税			
30 法人税、住民税及び事業税	3,400	4,200	△ 800
⑤他会計への繰入金支出			
31 他会計への繰入金支出	9,034	11,416	△ 2,382
⑥什器備品購入費			
32 什器備品購入費	1,000	1,100	△ 100
事業活動支出計	528,109	642,422	△114,313
業活動収支差額	12,466	30,638	△18,172
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
①その他の支出			
33 他会計借入金返済支出	10,092	13,123	△ 3,031
財務活動支出計	10,092	13,123	△ 3,031
財務活動収支差額	△10,092	△13,123	3,031
IV 予備費支出			
当期収支差額	2,374	17,515	△15,141
前期繰越収支差額	19,138	7,994	11,144
次期繰越収支差額	21,512	25,509	△ 3,997